

2026年3月期 決算短信補足説明資料

【TICKER】4389 / 【TERM】2025.04 – 2026.3

2026年5月13日

2026年3月期 決算概要



○ 2026年3月期 業績サマリー(連結)

クラウドサービス、ソリューションサービスともに堅調に推移し、売上高・各利益項目において増収増益を達成。
営業利益、経常利益、当期純利益は過去最高を更新。

売上高

3,721百万円
(前期比+12.1%)

経常利益

1,127百万円
(前期比+20.1%)

営業利益

1,112百万円
(前期比+18.8%)

当期純利益

716百万円
(前期比+12.9%)

※百万円未満切捨て

○ 2026年3月期 業績ハイライト(前期比)

クラウドサービスの売上高は、昨年度終了した大型案件の効果もあり堅調に推移。ソリューションサービスは新リース会計関連の受注により、下期以降に伸長し大幅に増収。新規サービスはREIVO社の売上増及び@cmmsの新規案件の寄与により前期比で大幅に成長。

(単位：百万円)		2025年3月期	2026年3月期	前期比
		実績	実績	
売上高(連結)		3,320	3,721	+12.1%
プロパティデータバンク	クラウドサービス	1,797	1,958	+9.0%
	ソリューションサービス	1,070	1,230	+15.0%
プロパティデータテクノス		231	203	△12.2%
プロパティデータサイエンス		27	36	+32.4%
新規サービス*		209	306	+46.3%
営業利益		936	1,112	+18.8%
経常利益		938	1,127	+20.1%
親会社株主に帰属する当期純利益		634	716	+12.9%

※百万円未満切り捨て

*新規サービス： REIVO社、@cmms、@iwms、@knowledge(クラウド部分はクラウドサービス、ソリューション部分を新規サービスに計上)

○ 期初発表業績予想に対する差異

ソリューションサービスは大型案件の獲得等により売上予算を達成した一方、その他のサービスについては、一部案件の進捗に想定との差異が生じたことなどから、計画比では弱含みで推移した。利益面では、高収益案件の積み上がりやコストコントロールの徹底により、営業利益・経常利益は期初予想を上回って着地した。

(単位：百万円)		2026年3月期	2026年3月期	予想比
		業績予想	実績	
売上高(連結)		4,000	3,721	△7.0%
プロパティデータバンク	クラウドサービス	2,010	1,958	△2.6%
	ソリューションサービス	1,200	1,230	+2.5%
プロパティデータテクノス		300	203	△22.3%
プロパティデータサイエンス		40	36	△10.0%
新規サービス*		450	306	△32.0%
営業利益		1,040	1,112	+6.9%
経常利益		1,040	1,127	+8.4%
親会社株主に帰属する当期純利益		750	716	△4.5%

※百万円未満切り捨て

*新規サービス： REIVO社、@cmms、@iwms、@knowledge(クラウド部分はクラウドサービス、ソリューション部分を新規サービスに計上)

○ 2027年3月期 通期連結業績予想

プロパティデータバンクは、引き続き大型案件の受注獲得を推進するとともに、顧客基盤の拡大とクラウドサービスの積み上げによる継続的な成長を目指す。子会社及び新規サービスについては、プロパティデータバンクとの連携を一層強化し、グループシナジーの創出を加速させることで、連結合計で前年比12.9%の増収を目指す。

(単位：百万円)		2026年3月期	2027年3月期	前期比
		実績	業績予想	
売上高(連結)		3,721	4,200	+12.9%
プロパティデータバンク	クラウドサービス	1,958	2,090	+6.7%
	ソリューションサービス	1,230	1,403	+14.0%
プロパティデータテクノス		203	260	+27.7%
プロパティデータサイエンス		36	47	+29.4%
新規サービス*		306	400	+30.6%
営業利益		1,112	1,340	+20.5%
経常利益		1,127	1,330	+18.0%
親会社株主に帰属する当期純利益		716	890	+24.3%

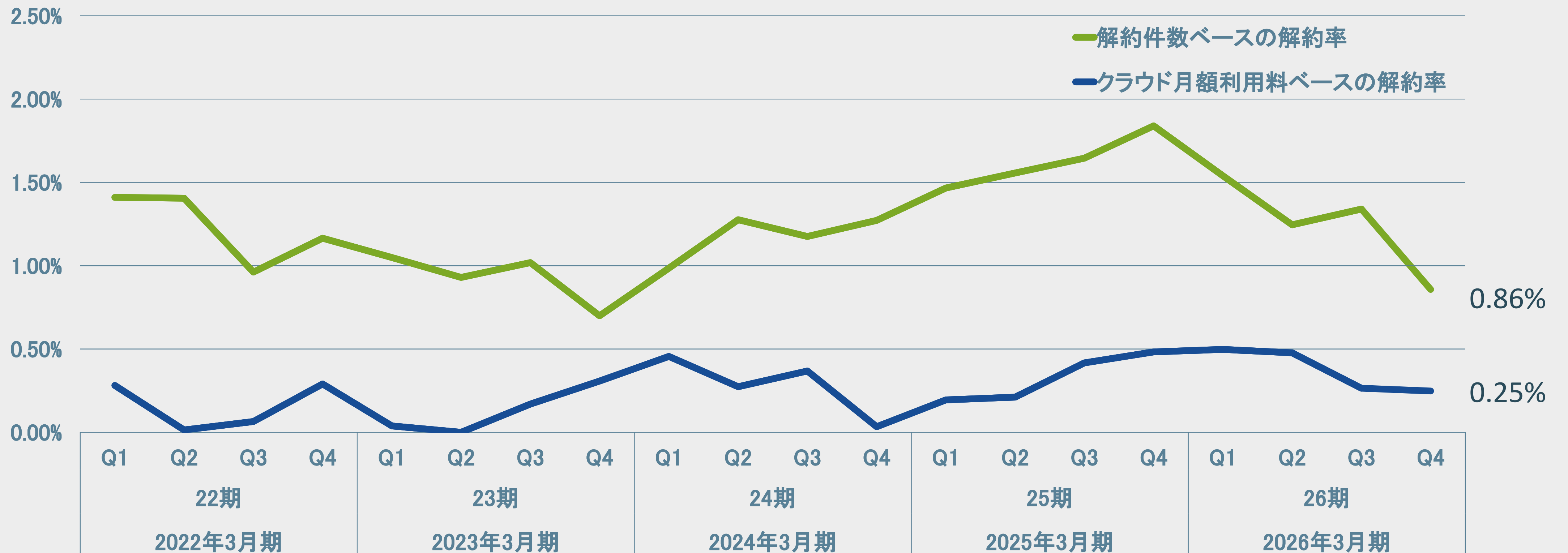
※百万円未満切り捨て

*新規サービス： REIVO社、@cmms、@iwms、@knowledge(クラウド部分はクラウドサービス、ソリューション部分を新規サービスに計上)

@property 解約率

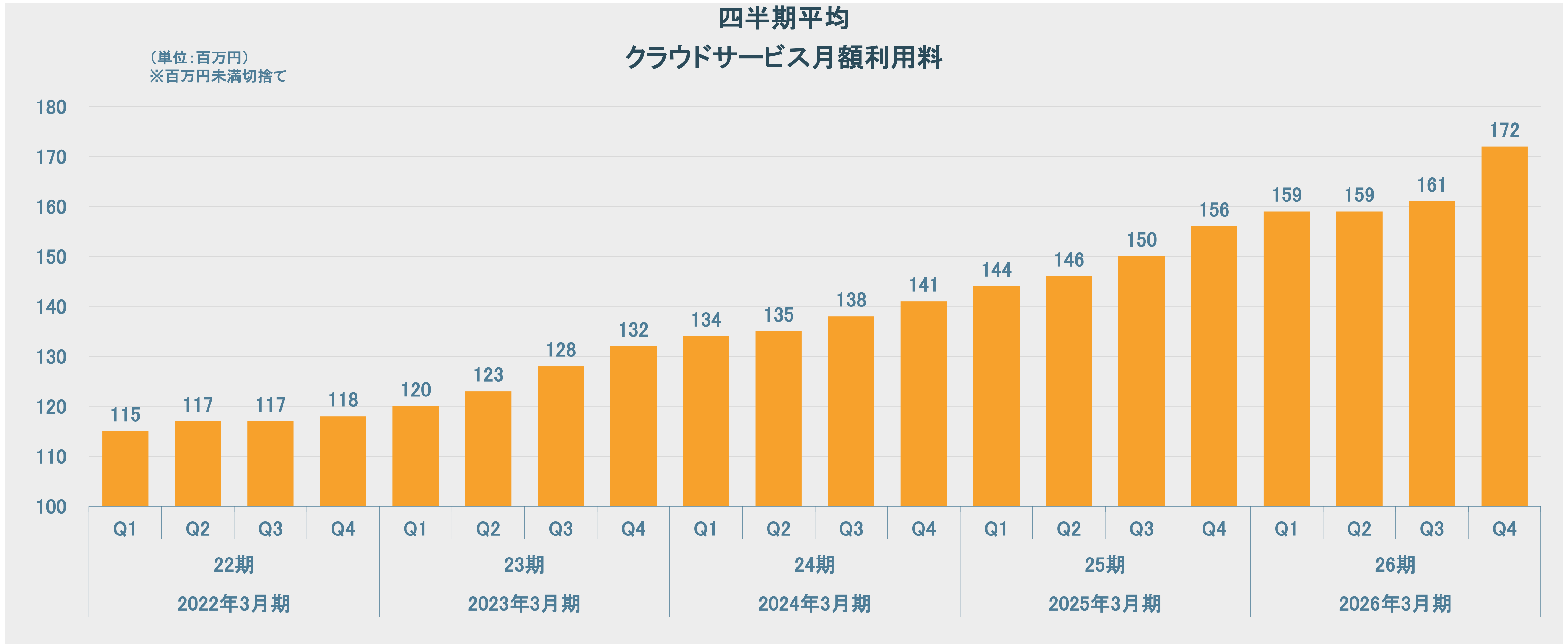
顧客サポート体制の強化やサービス品質向上施策の継続により、件数ベース・月額利用料ベースともに低水準の解約率を維持。ストック型収益基盤の安定性向上に加え、既存顧客との継続的な関係構築が、安定した契約継続率につながっている。

@propertyの解約率



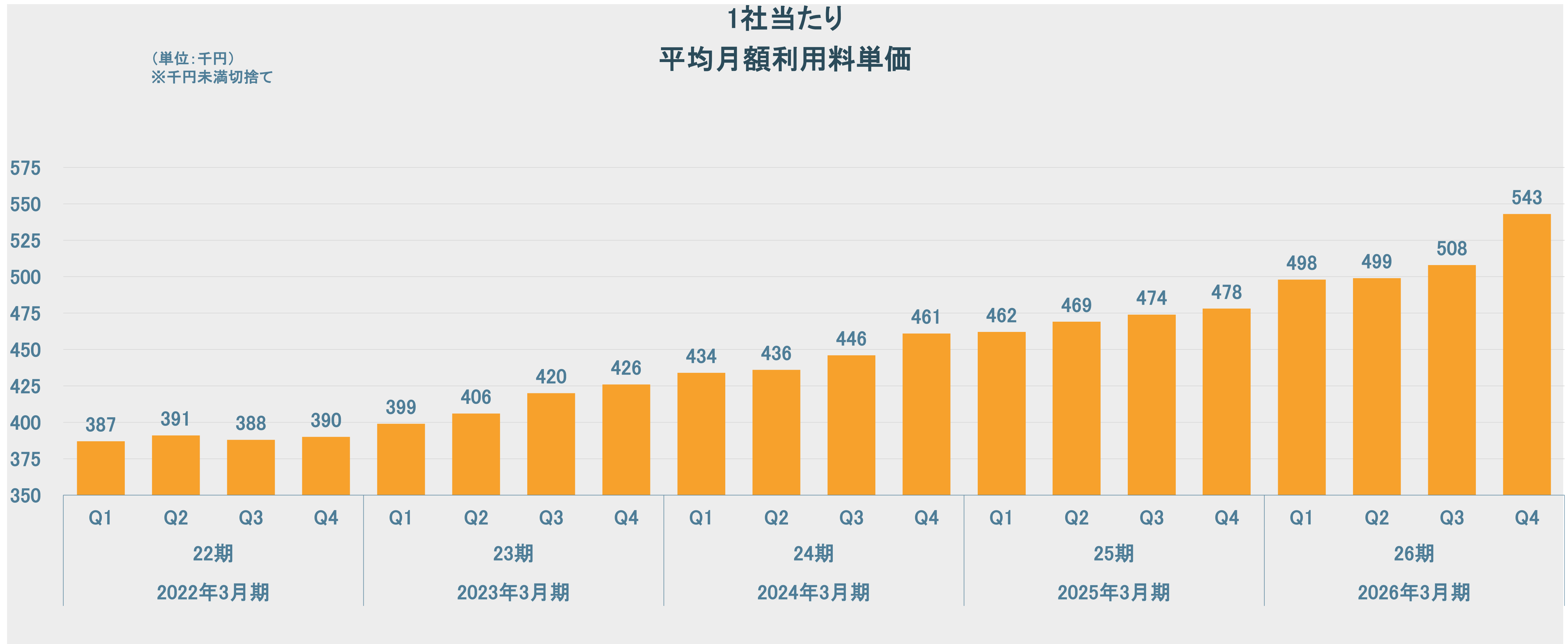
○ クラウドサービス月額利用料(Q平均)

既存顧客における利用拡大やオプションサービスの導入進展により、クラウドサービス月額利用料は継続的に増加。ストック売上の積み上がりにより、四半期平均月額利用料は前年同期比10.1%増となり、着実な成長を維持している。



○ 1社当たりのクラウドサービス月額利用料単価

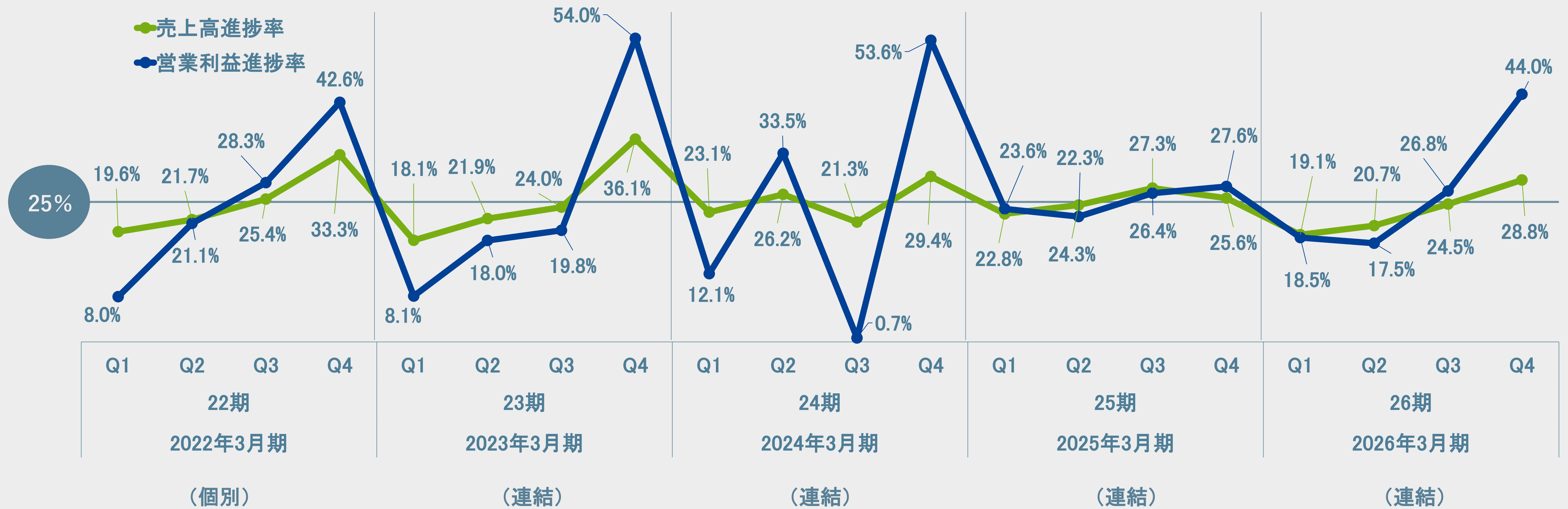
昨年度完了した大型案件の効果やサポートサービス料の増収もあり、Q1以降順調に拡大。
Q4から使用開始した顧客の収入が寄与し、単価は大きく伸長。



○ 四半期毎の進捗率

上期は一部案件の進捗遅延等により進捗率はやや低位で推移したものの、下期にかけて案件の積み上がりが進展。年度末に向けて売上・利益ともに大きく伸長した。

四半期進捗率





PROPERTY DATA BANK

IR に関するお問合せ
IR担当: 03-5777-3468
メール: PDB_IRinquiries@propertydbk.com

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等様々な要因により、実際の業績は言及または記述されてる将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。